

株式会社ニチイ学館
2019年3月期

第2四半期 決算説明会資料

2018年11月8日（木）

やさしさを、私たちの強さにしたい。



中期経営計画「VISION2025」の初年度として、 重点戦略を推進

FY2019.3 重点戦略の進捗

トップライン伸長の実現

- ・ 保育事業 前年比 + 38.5%
- ・ ヘルスケア事業 前年比 + 15.6%
- ・ セラピー事業 前年比 + 90.7%
- ・ 介護事業 前年比 + 0.2%

計画達成をコミット できる事業体質の強化

- ・ 執行役員制度の拡充
- ・ 2年目を迎えたVIPRO活動の
拡充
- ・ 正社員化、無期雇用化の推進
- ・ インセンティブ改革
- ・ 営業改革

教育事業構造改革

- ・ Gaba – COCOシステム統合、
ブランド並立の推進
- ・ 旧Gabaの成長 + 6.7%
- ・ スクール統合8教室

連結子会社の整備と不採算事業の整理

中国事業会社再編（二チイ直轄体制への移行）
第2四半期累計期間において7社6学校法人整理

決算ハイライト

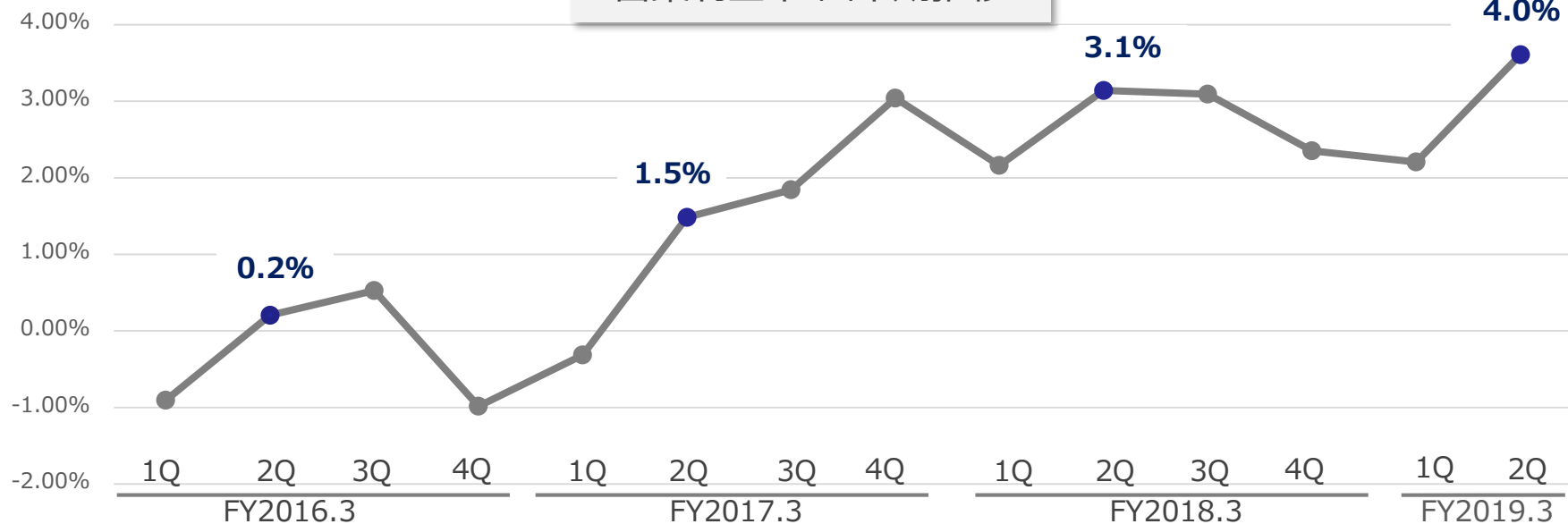
1. 4年連続 最高売上高を更新

- ・ 保育部門の大幅増収が業績を牽引
- ・ 介護、ニチイライフ、セラピーも増収に寄与
- ・ 旧Gabaが好調に推移

2. 営業利益 1Qの遅れを取り戻し増益へ

- ・ 介護部門 第2四半期累計営業利益が過去最高を更新
→ 介護施設の稼働率向上
- ・ 保育事業、中国事業の収支改善

営業利益率 四半期推移



決算概況

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	
	第2四半期	第2四半期	増減
売上高	141,426	142,596	+1,169
営業利益	3,753	4,154	+401
%	2.7%	2.9%	+0.2 pt
経常利益	1,815	1,947	+131
%	1.3%	1.4%	+0.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	918	251	-667
%	0.6%	0.2%	-0.4pt

セグメント別決算概況（連結 売上）

（単位：百万円）

売上高	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	伸長率 (%)	増減額 (前年同期対比)	2019年3月期通期 (期初予想)	2019年3月期通期 (修正予想)
医療関連	53,672	53,671	-0.0%	▲ 1	113,200	110,000
介護	75,404	75,526	0.2%	122	162,100	152,800
保育	3,922	5,433	38.5%	1,511	13,000	12,000
ヘルスケア	674	779	15.6%	105	3,500	2,000
教育	5,962	5,929	-0.6%	▲ 33	17,000	13,000
セラピー	97	185	90.7%	88	1,400	1,000
グローバル	1,683	1,005	-40.3%	▲ 678	4,400	2,800
その他	733	729	-0.5%	▲ 4	1,900	1,900
消去または全社	▲ 722	▲ 663	-	59	▲ 2,000	▲ 2,000
合計	141,426	142,596	0.8%	1,169	314,500	293,500

セグメント別決算概況（連結 営業利益）

（単位：百万円）

営業利益	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	利益率 (%)	伸長率 (%)	増減額 (前年同期対比)	2019年3月期通期 (期初予想)	2019年3月期通期 (修正予想)
医療関連	4,522	4,448	8.3%	-1.6%	▲ 74	10,800	10,000
介護	7,509	8,019	10.6%	6.8%	510	15,000	16,000
保育	▲ 728	▲ 477	▲ 8.8%	-	251	400	400
ヘルスケア	36	▲ 309	▲ 39.7%	-	▲ 345	▲ 770	▲ 600
教育	▲ 2,043	▲ 2,041	▲ 34.4%	-	2	▲ 900	▲ 1,500
セラピー	▲ 175	▲ 288	▲ 155.9%	-	▲ 113	40	40
グローバル	▲ 885	▲ 694	▲ 69.1%	-	191	▲ 500	▲ 900
その他	96	126	17.3%	31.3%	30	250	260
消去または全社	▲ 4,577	▲ 4,627	-	-	50	▲ 9,620	▲ 9,000
合計	3,753	4,154	2.9%	10.7%	401	14,700	14,700

貸借対照表の概況（連結）

（単位：百万円）

	2018年3月末	2018年9月末	差異	2017年9月末
流動資産	65,249	68,548	3,299	61,915
固定資産	124,990	124,034	▲ 955	126,600
資産合計	190,239	192,583	2,343	188,516
流動負債	60,459	58,727	▲ 1,731	69,786
固定負債	92,124	96,538	4,414	82,385
負債合計	152,583	155,266	2,682	152,171
純資産合計	37,656	37,316	▲ 339	36,344
負債・純資産合計	190,239	192,583	2,343	188,516

キャッシュ・フローの状況

フリーキャッシュフロー、現金及び現金同等物の期末残高が高水準で推移、キャッシュ創出力が向上

(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,372	1,028	2,854	9,927	4,823
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲4,325	▲2,761	▲2,709	▲479	▲257
フリー・キャッシュ・フロー	1,046	▲1,733	144	9,448	4,566
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,084	1,718	▲1,387	▲10,139	▲2,456
現金及び現金同等物の期末残高	8,402	12,599	13,171	15,579	20,365

部門別概況

基幹事業（医療関連部門）

契約適正化交渉と期中新規契約獲得に注力 四半期売上高・営業利益は改善傾向へ

【業績概況】

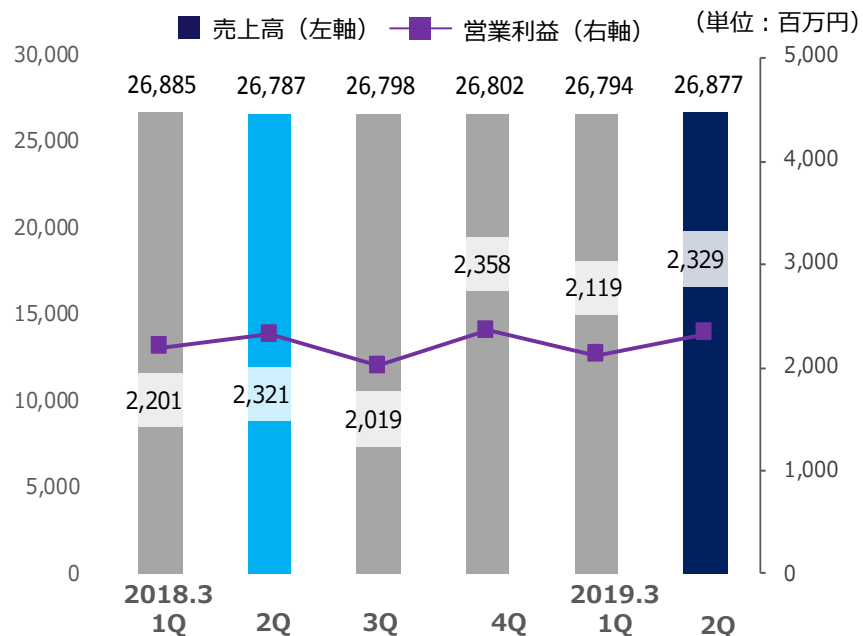
売上高 53,671百万円（前期比▲1百万円）
営業利益 4,448百万円（前期比▲74百万円）

- ・病院部門は増収（前年比+274百万円）、診療所部門は契約数減少により減収（前期比▲259百万円）
- ・四半期ベースでは、売上高、営業利益ともに改善傾向 前期2Q対比では増収・増益

【上期の取組み】

- ・期中新規契約獲得に向けた営業強化
- ・医師の働き方改革推進をサポート
医師事務作業補助者へのニーズの高まりに応える
- ・引続き、契約適正化交渉を継続
→1病院あたり売上が増加（前年同期対比+1.7%）

【四半期売上高・営業利益推移】



基幹事業（介護部門）

介護施設の稼働率向上・中重度受入れ強化により 四半期利益が大幅改善

【業績概況】

売上高 75,526百万円（前期比+122百万円）

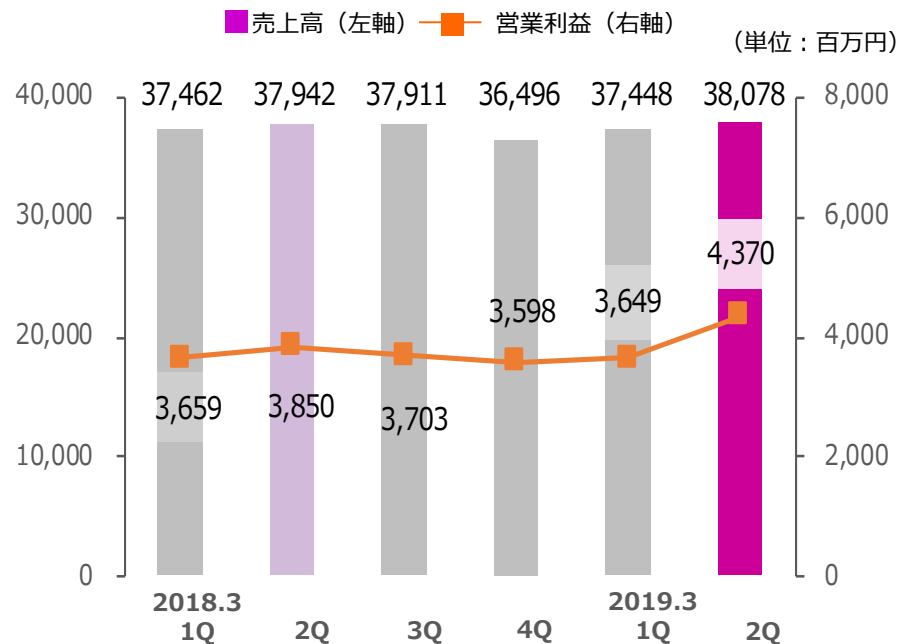
営業利益 8,019百万円（前期比+510百万円）

- ・ 居住系は有料老人ホームの稼働率上昇により増収・増益（居住系：売上高前年対比+4.7%）
- ・ 在宅系は利用者数の減少により減収となるも顧客単価の上昇等により増益
- ・ 生産性向上により、四半期利益大幅改善

【上期の取り組み】

- ・ 中重度対応強化、介護保険給付対象利用者獲得を推進
- ・ 現場スタッフ主導による効率化・労働生産性向上
- ・ デイサービスの大規模修繕に着手（2018年度77件予定）

【四半期売上高・営業利益推移】



基幹事業（保育部門）

保育施設の積極展開、稼働率の向上により、 売上高・営業利益ともに大幅改善

【業績概況】

売上高 5,433百万円（前期比+1,511百万円）
営業損失 ▲477百万円（前期比+251百万円）

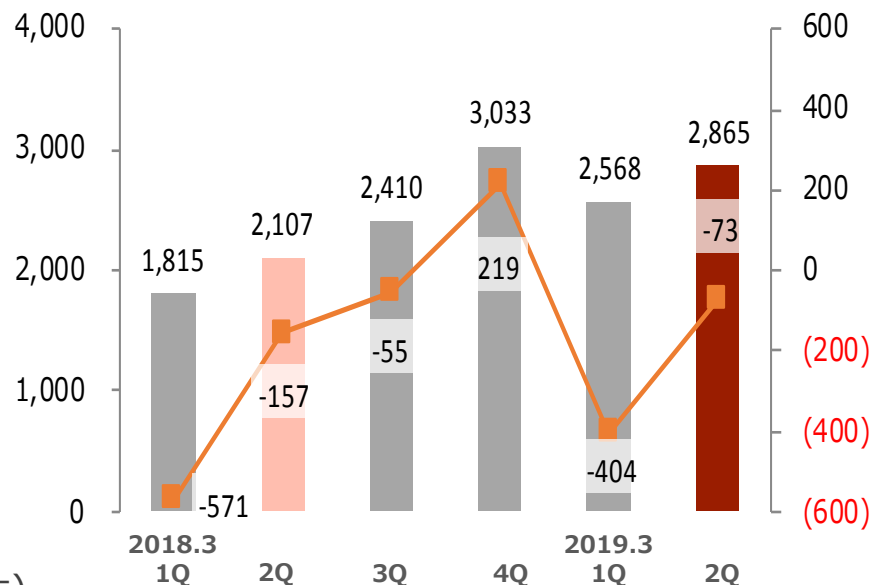
- ・ 保育施設の積極展開、稼働率向上により増収・損失額縮小
- ・ 四半期利益が大幅改善

【上期の取り組み】

- ・ 企業主導型保育所を中心とした保育施設の積極展開
（企業主導型+21拠点、その他27拠点：合計48拠点）
→9月末時点 保育施設数：247拠点
- ・ 法人営業等、稼働率向上に向けた営業促進
（企業主導型 法人契約数276件：本社139件、支店137件）

【四半期売上高・営業利益推移】

■ 売上高（左軸） ■ 営業利益（右軸）（単位：百万円）



BS事業（ヘルスケア部門）

ニーズに対応したサービス提供により、売上高は堅調に推移 サニーメイドサービス拡大準備を推進

【業績概況】

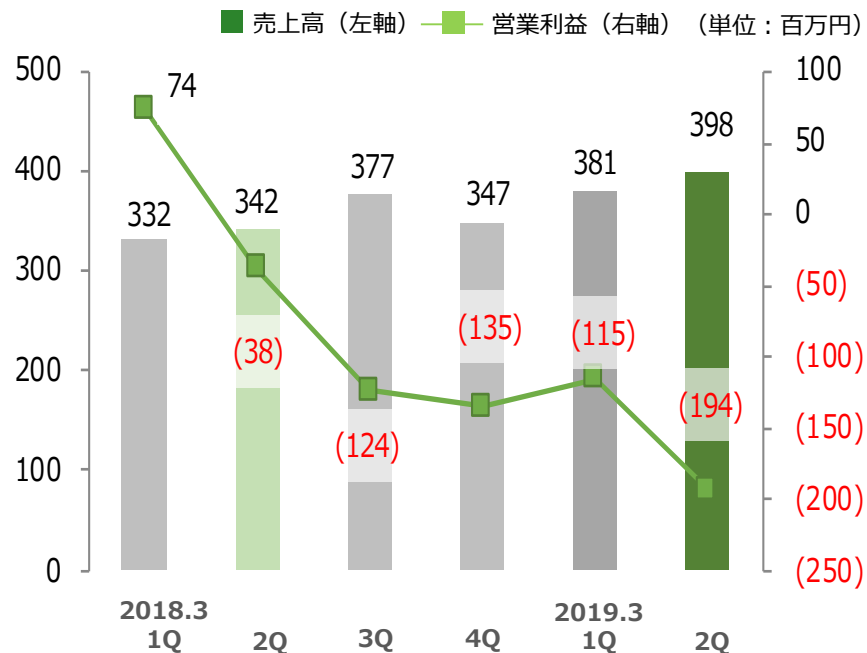
売上高 779百万円（前期比+105百万円）
営業利益 ▲309百万円（前期比▲345百万円）

- ・家事代行サービスの利用者数増加により増収
（ニチイライフ利用者数：前年同期対比+12.1%）
- ・外国人スタッフによる家事代行サービス「サニーメイドサービス」の関西圏での展開準備等に係る先行投資により減益

【上期の取り組み】

- ・9月末時点外国人スタッフ数：274人
- ・利用者獲得に向けた法人向け営業等の強化

【四半期売上高・営業利益推移】



BS事業（教育部門）

旧Gabaが好調に推移 事業構造改革の効果発現に向けた施策に注力

【業績概況】

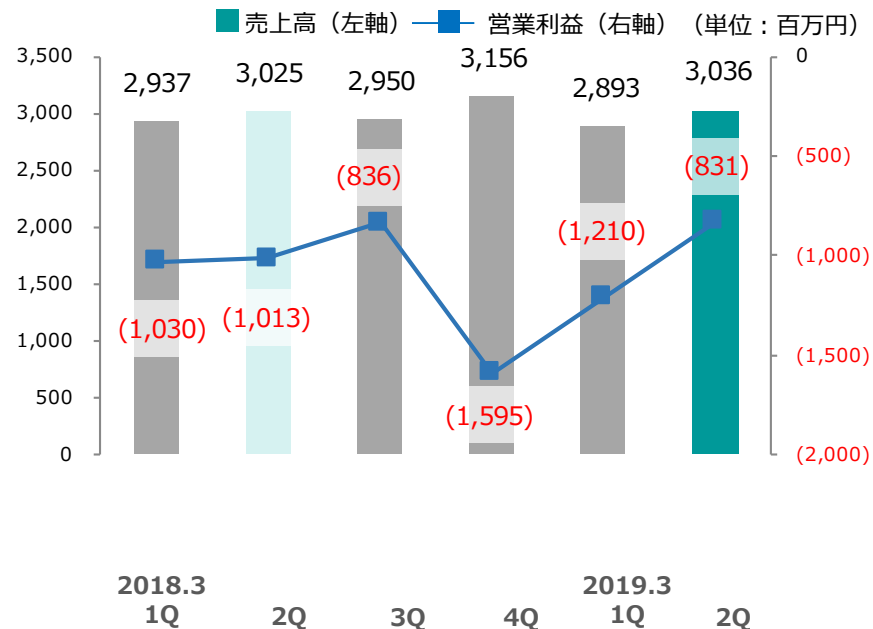
売上高 5,929百万円（前期比▲33百万円）
営業利益 ▲2,041百万円（前期比+2百万円）

- ・ Gabaにおける旧COCO塾受講者継続受講に対する割引優遇措置の影響等より減収
- ・ 旧Gabaの利用者数が増加（前年同期対比+6.7%）
- ・ 四半期では、売上高・営業利益共に改善基調へ
前期4Qにシステム統合後、2019年3月期1Q、2Q改善トレンドへ

【上期の取り組み】

- ・ グループ資源を活かした協働運営の推進
カウンセラー・インストラクターレベルの標準化
- ・ スクール8カ所統合

【四半期売上高・営業利益推移】



BS事業（セラピー部門）

四半期売上高・営業利益は共に改善傾向 顧客数増に向けプロモーション、サービスの充実に注力

【業績概況】

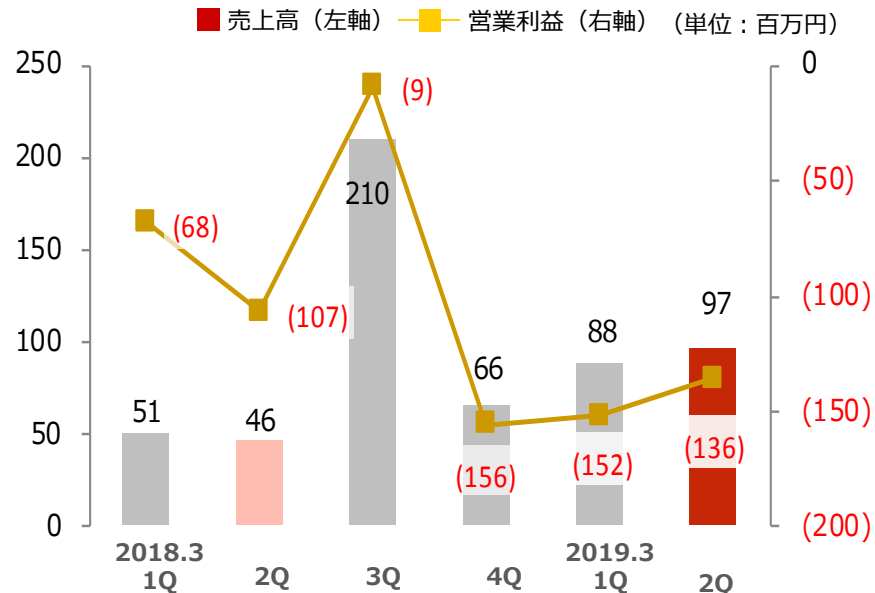
売上高 185百万円（前期比+88百万円）
営業利益 ▲288百万円（前期比▲113百万円）

新規店舗のオープン、売上拡大により増収
出店に係る先行投資、運営費を吸収できず減益
四半期ベースでは、緩やかに改善傾向

【上期の取り組み】

- ・ A-LOVE 福岡浄水通店オープン（7月）
→全国21店舗体制へ
- ・ インスタグラムなどSNSによる情報発信、認知向上
- ・ ニーズに合わせた新サービスの展開

【四半期売上高・営業利益推移】



グローバル事業

合併会社の整理による組織再編を推進 新規案件の獲得と事業効率化の双方により収益向上に注力

【業績概況】

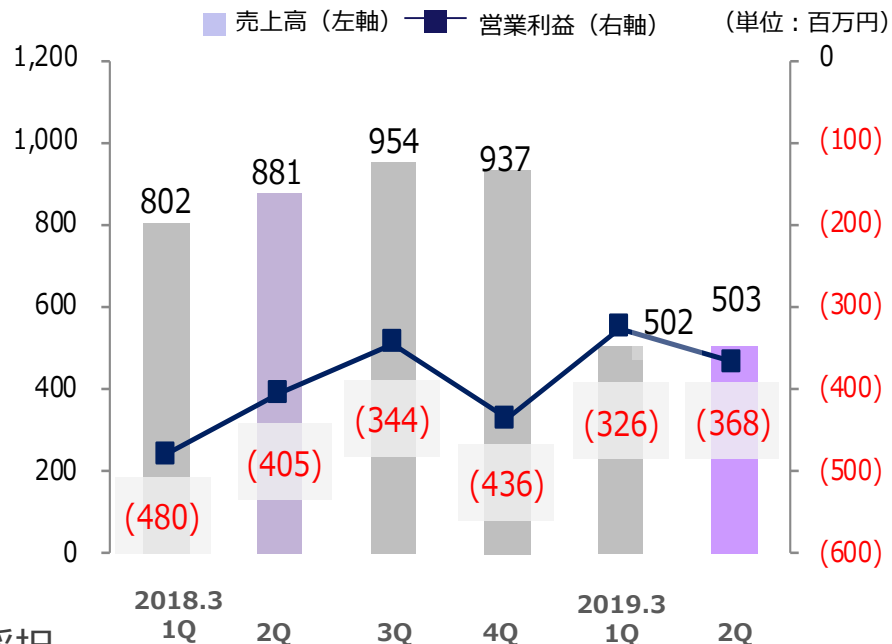
売上高 1,005百万円（前期比▲678百万円）
営業利益 ▲694百万円（前期比+191百万円）

- ・ 中国現地事業会社のうち8社との合併解消により減収
- ・ 合併解消等、事業の効率化により損失額縮小

【上期の取り組み】

- ・ 地域事業会社整理の推進
- ・ 施設案件の受託、研修事業の推進
→施設受託：3件（北京市2件、大連市1件）
→研修実施：9件
- ・ 中国における「介護複合拠点構築プロジェクト」が経済産業省「国際ヘルスケア拠点構築促進事業」に採択

【四半期売上高・営業利益推移】



通期計画達成にむけて

通期計画達成に向けた重点施策

上期実績を踏まえた更なる強化施策により、 通期計画の達成確度を上げていく

1. トップライン伸長の実現

- ・ 営業改革 ～ 全社営業推進の加速
- ・ 保育事業 ～ 年間売上100億円、年間黒字化実現へ

2. 計画達成をコミットできる事業体質の強化

- ・ 現場主導の更なる事業改革の推進
 - 業務効率化の推進
 - 拠点収益力の強化

3. 教育事業構造改革

- ・ Gaba-COCO塾システム統合、ブランド並立の推進
- ・ COCO塾Jr.サテライト教室閉鎖

4. 中国事業の組織再編、新規案件の獲得推進

営業推進の加速と人材資源の最大活用により、 更なる売上成長機会を創出

営業推進の加速化（量から質への転換）

- 営業行動・営業ターゲット分析の強化
10月16日付で「ニチイ営業統轄本部」に「営業企画部」を設置
- クロスセル営業の更なる推進（基幹×BS×グローバル）
SFAアカウントを260人の営業スタッフに付与、日々の営業推進を支援

人材資源の最大活用による供給力強化

- 人材マッチング力の強化
配置希望・熟練度に応じた配置転換による、
案件との円滑なマッチング
- 資格講座受講生の獲得施策推進、修了生へのアプローチ強化

数値目標

前年対比通期売上伸長率
（全社）

3.4%

収益性の向上に向け、 事業現場主導の更なる事業改革を推進

業務効率化の推進

- 働き方改革の推進（長時間労働の削減）
業務管理の強化により、残業、長時間労働を削減

拠点収益力の強化

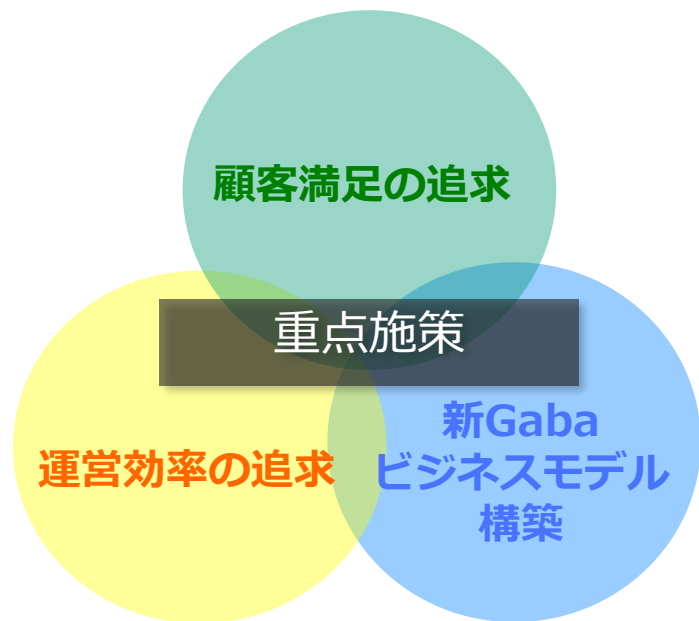
- VIPRO活動を通じた自律性強化の推進
現場スタッフの主導による現場の効率化、労働生産性の向上
▶ 営業利益 過去最高連続更新を目指す

数値目標

医療関連・介護部門
前年対比営業利益増益額

約 **2,300** 百万円

新Gaba教室体制を維持 マネジメント強化により黒字化を目指す



顧客満足の実現 ～ Gabaメソッドの徹底

- ・クライアント上達目標の徹底支援
レッスン提供によるクライアントの目標の達成
- ・カウンセリング強化、インストラクター教育の強化

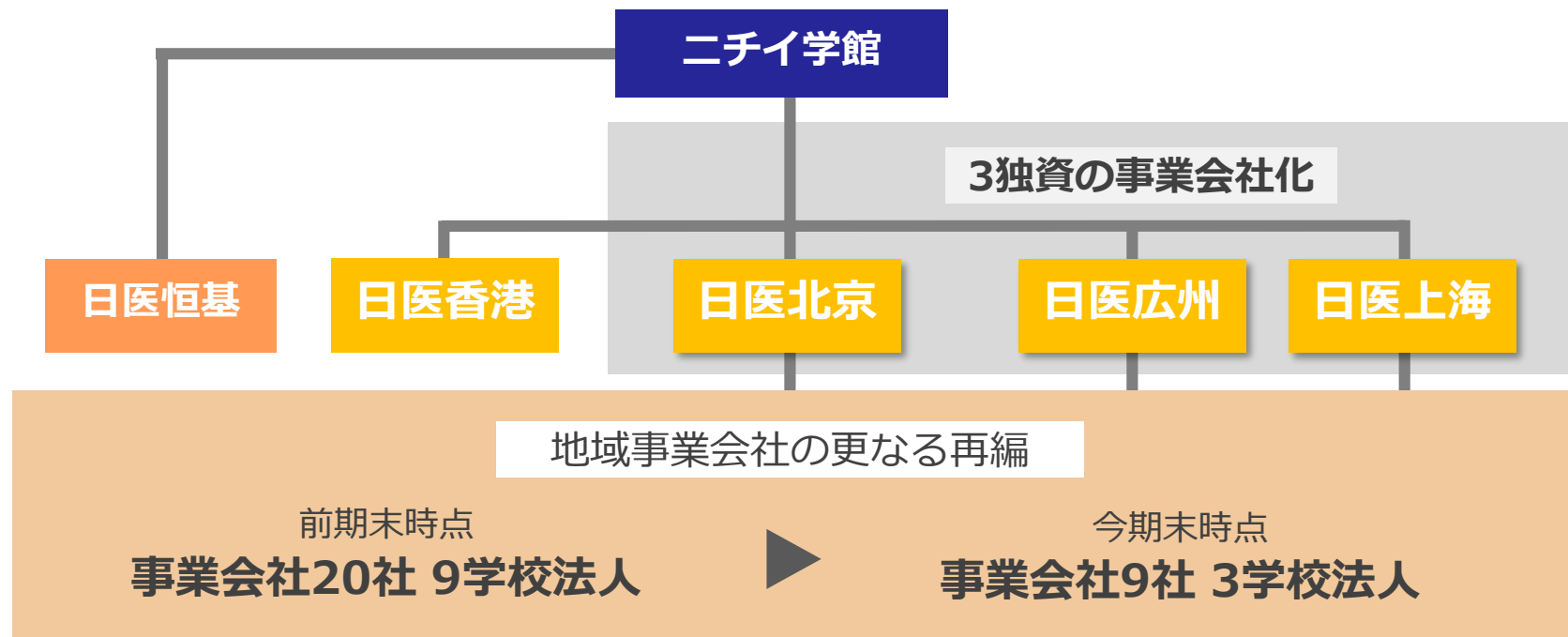
運営効率の実現

- ・エリア別Gaba-COCO塾jr.の最適資源配分モデルの構築
- ・COCO塾Jr.サテライト教室閉鎖
※拠点分散による非効率解消・計画的受講にかかる利便性にフォーカス

新Gaba ビジネスモデル構築

- ・首都圏を中心とした都市型ビジネスモデルから旧COCO塾を活用した全国展開ビジネスへの挑戦

中国におけるビジネス環境の変化やニーズを受け 独資の事業会社化による市場創造体制を構築



通期計画達成に向けた重点施策 成長機会の創出

中国事業2020年3月期の黒字化実現に向け、 新規案件獲得に注力

施設運営受託及び研修事業の推進

- 施設受託：受託見込数3件（瀋陽市2件、北京市1件）
- 外販研修：7件実施予定。
- 7月に採択された経済産業省補助事業「国際ヘルスケア拠点構築促進事業」にかかる複合拠点運営（北京市・大連市）により、今後の事業モデルを構築

経産省補助事業「国際ヘルスケア拠点構築推進事業」採択について

プロジェクト名：「中国における介護複合拠点構築プロジェクト」

コンソーシアム：当社（コンソーシアム代表団体）、日本電気株式会社、株式会社IAO竹田設計、八楽夢床業（中国）有限公司（パラマウントベッドホールディングス株式会社の中国現地グループ会社）、東陶（中国）有限公司（TOTO株式会社の中国現地グループ会社）

期間：2018年7月19日～2019年2月28日

実施内容：複合拠点の設置、在宅介護モニターサービスの提供、介護施設のモデルルームの設置、要介護者家族向け説明会の実施、拠点管理者の養成研修、中国企業向け事業者説明会の実施によるパートナー企業開拓。

2019年3月期 通期 業績見通し

2019年3月期 通期 業績見通し (連結)

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期			
	通 期	第2四半期	期初予想	修正予想	修正額	前年同期比 (%)
	金額	金額				
売上高	283,767	142,596	314,500	293,500	▲ 21,000	3.4%
営業利益	7,630	4,154	14,700	14,700	0	92.7%
%	2.7%	2.9%	4.7%	5.0%	-	-
経常利益	3,628	1,947	10,500	9,600	▲ 900	164.6%
%	1.3%	1.4%	3.3%	3.3%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	854	251	6,300	5,100	▲ 1,200	496.9%
%	0.3%	0.2%	2.0%	1.7%	-	-

セグメント別業績見通し（連結 売上高）

（単位：百万円）

売上高	2018年3月期 通 期	2019年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 通 期			
	金額	金額	期初予想	修正予想	修正額	前年同期比 (%)
医療関連	107,272	53,671	113,200	110,000	▲ 3,200	2.5%
介護	149,811	75,526	162,100	152,800	▲ 9,300	2.0%
保育	9,365	5,433	13,000	12,000	▲ 1,000	28.1%
ヘルスケア	1,398	779	3,500	2,000	▲ 1,500	43.1%
教育	12,068	5,929	17,000	13,000	▲ 4,000	7.7%
セラピー	373	185	1,400	1,000	▲ 400	168.1%
グローバル	3,574	1,005	4,400	2,800	▲ 1,600	-21.7%
その他	1,933	729	1,900	1,900	0	-1.7%
消去または全社	▲ 2,030	▲ 663	▲ 2,000	▲ 2,000	0	-
合計	283,767	142,596	314,500	293,500	▲ 21,000	3.4%

セグメント別業績見通し（連結 営業利益）

（単位：百万円）

営業利益	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期			
	通 期	第2四半期累計	通 期			前年同期比 (%)
	金額	金額	期初予想	修正予想	修正額	
医療関連	8,899	4,448	10,800	10,000	▲ 800	12.4%
%	8.3%	8.3%	9.5%	9.1%		
介護	14,810	8,019	15,000	16,000	1,000	8.0%
%	9.9%	10.6%	9.3%	10.5%		
保育	▲ 564	▲ 477	400	400	0	-
%	6.0%	-8.8%	3.1%	3.3%		
ヘルスケア	▲ 223	▲ 309	▲ 770	▲ 600	170	-
%	-16.0%	-39.7%	-22.0%	-30.0%		
教育	▲ 4,474	▲ 2,041	▲ 900	▲ 1,500	▲ 600	-
%	-37.1%	-34.4%	-5.3%	-11.5%		
セラピー	▲ 340	▲ 288	40	40	0	-
%	-91.3%	-155.9%	2.9%	4.0%		
グローバル	▲ 1,665	▲ 694	▲ 500	▲ 900	▲ 400	-
%	-46.6%	-69.1%	-11.4%	-32.1%		
その他	204	126	250	260	10	27.5%
%	10.6%	17.3%	13.2%	13.7%		
消去または全社	▲ 9,014	▲ 4,627	▲ 9,620	▲ 9,000	620	-
合計	7,630	4,154	14,700	14,700	0	92.7%
%	2.7%	2.9%	4.7%	5.0%		

2019年3月期 通期 業績見通し (単体)

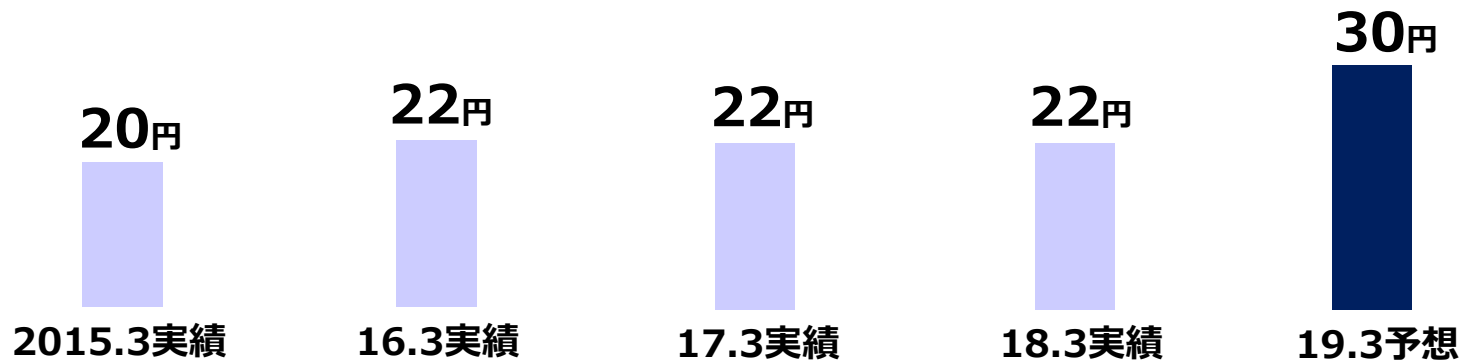
(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期			
	通 期	第2四半期	期初予想	修正予想	修正額	前年同期比 (%)
	金額	金額				
売上高	243,588	122,599	268,700	251,300	▲ 17,400	3.2%
営業利益	6,241	4,020	12,100	12,100	0	93.9%
%	2.6%	3.3%	4.5%	4.8%	-	-
経常利益	4,939	3,429	10,800	10,300	▲ 500	108.5%
%	2.0%	2.8%	4.0%	4.1%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,300	2,051	7,600	6,900	▲ 700	109.1%
%	1.4%	1.7%	2.8%	2.7%	-	-

株主還元

キャッシュ創出力の高まりにより、
年間配当額は1株あたり8円の増配となる30円を予定

年間配当額



ニチイVISIONと「SDG s」のリンクにより グローバル規模での持続的成長の実現を目指す

E	地球温暖化・自然資源 デイサービスセンター改修に伴う高効率エネルギー 設備導入によるCO2排出量の削減
S	社会課題解決・社会市場機会 国連の持続可能な開発目標「SDG s」と当社経営理 念・ニチイビジョンとのリンクによるサステナブル な経営戦略の推進
G	報酬 市場を意識した譲渡制限付株式報酬制度・ストック オプション制度の導入



当社と関係の深いSDG s 4つの重点テーマ



この配付資料に記載されている業績目標および契約数・利用者数・目標等は、いずれも当社企業グループが現時点において把握している情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、規制緩和、雇用情勢などの不確実な要因の影響を受けます。

したがって、実際の業績および契約数・利用者数等はこの配付資料に記載されている予想とは異なる場合がありますことをご承知ください。

<お問い合わせ先>

株式会社ニチイ学館

経営管理統轄本部 経営管理本部 広報部 広報課

所在地：東京都千代田区神田駿河台2-9

Tel：03-3291-3954

Mail：nichii-ir@nichiigakkan.co.jp